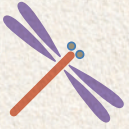


竹刀の組み立て方



一、柄革をはめる



二、先ゴムを入れる

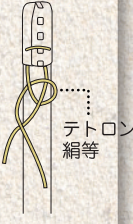


カーボンの場合は
専用ゴムを使用。

三、ツルを先革に通す



四、ツルの結び方



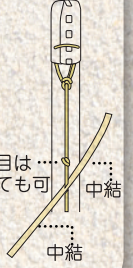
五、先革のツルを結ぶ



六、結び目を付ける



七、中結を通す



八、ツルと柄革を結ぶ作業



九、



十、



十一、



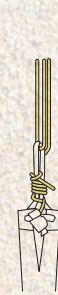
十二、



十三、



十四、



十五、中結を結ぶ



十六、



十七、



十八、



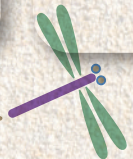
十九、



二十、



二十一、



5. 竹には、十分な竹刀専用の油分を！

竹刀の使用前、使用後には必ず油分を塗りこみます。

竹は極度に乾燥しすぎると、劣化が早まります。また、湿気が多すぎても、カビが繊維に入り込み、強度が弱くなります。

ちくとう断面に十分塗りこみ、劣化をできるだけ防止します。使用后、竹刀袋に入れる前にビニール袋に入れることで、乾燥を防ぐことができます。

6. 付属品(柄革、先革(吟付)、中結(吟付)、ツル、先芯等)は、磨耗、緩み、劣化に注意！

竹刀付属品は、使用するうちに伸びたり、切れたり、磨耗します。竹刀を安全に使用する上で非常に重要な部品です。

革が伸びると緩んだり、薄くなると仕組みの緩みや、付属品の破損につながります。先革が伸びて緩んでいたたり、先芯ゴムが見える場合は、直ちに取替えます。

中結いは竹刀の4片を束ねています。4片がしっかりと一緒に束ねることにより、打突による衝撃を分散させています。

緩んだり、薄くなると、竹刀の傷みが早まります。

また、折れた竹刀が飛び散る原因となります。ツルが緩むと、竹が先革から外れる原因になります。

竹刀付属品は、安全のために、こまめにしっかりと点検する必要があります。